

2023年度 特定非営利活動たんぽぽ会 事業報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

はじめに

2023年5月に「新型コロナウイルス」が5類に移行しました。新型コロナ感染症自体は流行を繰り返しています。子どもでは重篤な症状になるケースは少ないようですが、他の感染症の流行もあり、引き続き手洗いなど基本的な対応は続けながらも、順次子どもたちが伸び伸びと遊べる保育を行うよう、職員全体での話し合いを積み重ねてきました。

2022年に大きな社会問題になった、保育園などで起きた児童虐待や不適切保育は、2023年も各地で発生しています。

子どもたちに対して十分な発達支援を行うためには、現行の保育士配置の最低基準が少なすぎることは、以前から問題とされてきました。2023年は、全国各地で「せめて子どもたちにもう一人保育士を」とのスローガンのもとに、保育士や保護者がともに声を上げ、国に保育士配置の最低基準の改善を求める運動が広がりました。

この結果、4歳児～5歳児の最低基準が制度発足以来、78年ぶりに初めて子ども30人に1人から、25人に1人に改善が行われ、3歳児についても20人に1人から15人に1人に改善されました。しかし、同時に実施される予定だった1歳児の基準は財政上の理由で先送りとなりました。

子どもの発達にとって、保育園での生活は大きな意義があります。そのためには、子どもの権利を尊重し一人一人に寄り添った保育を行う保育の理念と、十分な体制を確立するための保育施策のさらなる充実が一刻も早く求められています。

1、事業の成果と課題

2023年度は幼児クラスでの定員が前年度から引き続き充足せず、施設定員は60人ですが利用定員は58人とし、年度限定保育事業を継続し、1歳児2人を受け入れることで、事業計画を裏付ける財政を確保することが出来ました。

職員・施設体制においては、正規職員の欠員が4月の時点で補充できずにいましたが、6月で1人を採用することができました。また、年度末で雇用延長の職員が退職することになったため、2024年度からの正規雇用を見込んで9月からフルタイムでパート職員を採用することが出来ました。

新型コロナ感染症の5類移行に伴い、子どもにとって何が必要なのか、保護者の思いはどうなのかなど、保育内容・行事の持ち方など、職員の話し合いを重ねてきました。その結果として、春まつり・運動会・お楽しみ会など、子どもと保護者が共に成長を実感できるよう、ほぼ制限のない状況で4年ぶりに開催することが出来ました。また、コロナ期間中に中止や制限をしていた、園庭開放や地域の子育て支援の取組みも再開し、地域で子育てをしている親子に楽しんでもらえるようになりました。

当法人「たんぽぽ会」の事業は、毎日の生活や遊びの中で、子ども達の要求を日々受けとめ、活動意欲を大切にし、子ども達が安心して過ごす事のできる保育環境を常に心がけ、

健康な身体と考える力、豊かな心をもった子どもに育てるという事を、保護者の方々と共に確認しあいながら共同の保育を進めてきました。

こうした保育を実践するためには、現在の職員配置では限界があります。より丁寧な個別配慮が必要な子どもたちも増えている中で、職員からも体制の充実を求める要望が継続して出されています。

しかし、現行の国の職員配置基準は、保育現場の実態と乖離が大きく、そのために限られた財源を少しでも体制充実には振り分けることから、抜本的な処遇の引上げには至っていません。保育士の配置、栄養士の必置化などとともに、職員が長く働き続けキャリアを積んでいくためにも、保育制度における基準の充実と、財政措置などの制度の充実はどうしても必要なものとなっています。

2、法人本部

①理事会の開催

2023年5月17日(木)19:00～22:30 出席理事 7/7 出席監事 2/2

2023年7月19日(木)19:00～21:30 出席理事 5/7 出席監事 2/2

2023年9月20日(水)19:00～21:50 出席理事 6/7 出席監事 2/2

2023年11月21日(火)19:00～21:50 出席理事 6/7 出席監事 2/2

2024年1月30日(火)19:00～20:30 出席理事 6/7 出席監事 1/2

2024年3月22日(火)19:00～21:20 出席理事 7/7 出席監事 1/2

②業務監査

2023年5月20日(土)13:00～15:40 出席監事 2/2

2023年11月11日(土)9:30～14:00 出席監事 2/2

③財政確立

長期計画において施設整備や不測の事態に対応する上で、計画的な資金の積立を行うために、毎年収入の2%程度を計画的に積立していくことを決めました。2022年度の決算で前年度同様の350万円程度の積立は可能でしたが、外壁塗装工事と2階の点検通路の拡張工事を予定していたため、積立は行わず繰越し資金と当期の収入で施設整備工事を行いました。また、一般経費の節減等により保育園会計の次期繰越し金が310万円余り出るため、2024年度に定期預金に振り替えることとします。

2023年度は、給食食材費の値上がりが顕著となりましたが、電気料金の政府補助および、横浜市の給食費・光熱費補助が継続されたため、値上げ分を吸収することが出来ましたが、2024年度はこれらの補助がなくなることから、給食費と光熱費の値上げ分が支出増につながるが見込まれます。

安定的な財政基盤の確立は引き続きの課題であり、当法人に寄付をした場合に所得税・住民税の控除ができる、認定NPOとなるための手続きを進めてきました。

3、三ツ境たんぽぽ保育園

①事業名一 認可保育園 三ツ境たんぽぽ保育園

②事業内容一 子ども達が集団の中で心身ともに健やかに成長する事が出来る保育事業を

行い、同時に産休明けから長時間保育の実施により保護者の労働を保障する。
子どもの健全育成と地域に向けた子育て支援を行なう

③施設所在地

神奈川県横浜市笹野台 2-9-28

③認可施設開設年月日

2018年4月1日

③保育定員－58人

【0歳児:5人 1歳児:9人 2歳児:10人 3歳児12人 4歳児12人 5歳児10人】
年度限定保育事業定員－3人【1歳児:3人】

④職務に従事している職員

施設長1人、事務長1人、主任保育士1人

保育士－23人【常勤:(正規10人)、非常勤13人

給食室－管理栄養士1人、栄養士1人、調理師1人、調理員1人

保育補助－3人(パート3人)、環境整備－1人(パート1人)

嘱託医－飛田医院(乳幼児健康診断)、グランアズーリデンタルクリニック(歯科検診)

⑤年間入所数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
児童数	56	56	59	60	60	60	60	60	60	60	60	60	711

⑥運営委員会の開催

2023年6月17日(土)13:30～14:20 6/9

2023年9月16日(土)13:30～14:30 6/9

2023年12月16日(土)13:30～14:20 7/9

2023年3月9日(土)13:30～14:20 7/9

⑦施設整備

- ・耐久性の向上のため、園舎の外壁の全面塗装を実施した。
- ・収納スペースを確保するため、2階保育室の点検通路の拡張工事を実施した。
- ・横浜市の施設機能強化補助金で災害時のためのソーラーパネル付き蓄電池と、避難車を購入した。